

「児童虐待防止推進月間」ブリッジフォースマイルが届ける当事者たちの声

11月19日 岩波新書より書籍刊行『親をたよらないで生きるヒント』

11月20日 当事者たちとのイベント開催 『テーマ“親ガチャ” 子どもは親を選べない!』

私たち「ブリッジフォースマイル（B4S）」は、児童虐待防止月間に、親を頼れない経験をした当事者たちの声を社会に届けるため、2つの企画を用意しました。



■ブリッジフォースマイル協力 『親をたよらないで生きるヒント』11月19日刊行

『親をたよらないで生きるヒント』では、9人の若者たちが親を頼れなかった経験を綴っています。うつ病の母のヤングケアラーとなった中学時代、里親家庭で経験した辛い親権者同意の壁、日本での在留資格がないまま施設に引き取られた不安。彼らの体験と同時に、今、困難を抱えている子どもたちへ、どのようにSOSを出したら良いのかをわかりやすく解説。子どもが安心して暮らすにはどうすれば良いのか？子どもも大人も一緒に、考えることができる書籍です。

B4Sは著者のコイケジュンコさんと共に企画から参加し、当事者たちとの橋渡し役も担いました。このたびの刊行にあたり、コイケジュンコさんへの取材についても、私たちB4Sを通じ、お受けいたします。

●● コイケジュンコさん プロフィール ●●

中学の時、父親が家出、病弱な母親と2人で暮らす。高校卒業後、夜間大学に通いながら、母親に仕送りをした体験から「親の経済的理由で大学進学や夢を諦める子どもをつくってはいけない」と強く感じる。2人の子育てをしながら仲間との起業、情報系企業勤務などを経て独立。企画、編集、執筆の仕事しながら、10代の頃の思いを形にしようと、2009年に児童養護施設から進学を希望する子が、夢を語ることで進学資金を寄付で集められないかと、弊団体代表である林恵子に相談をする。それを機にB4Sとボランティアで2010～2017年、進学支援プロジェクト「カナエール」が実現した。

■テーマ“親ガチャ” 当事者たちとのオンライントークイベント開催

「子どもは親を選べない」という意味で、若者たちの間で急速に広まっている言葉「親ガチャ」。親を頼れなかった子ども時代を経験する当事者5名をむかえ、当事者が思う「親ガチャ」とは？ 私たち一人ひとりにできることは？をテーマに、参加者と共に話をしていきます。

◆日時：11月20日(土) 10時～12時（オンライン）

◆参加費：無料

◆詳細・お申し込み URL：B4S ホームページ <https://www.b4s.jp/post-3568/>

本件へのお問い合わせ・取材のお申し込みは、下記までお願いいたします。

認定 NPO ブリッジフォースマイル代表 林 恵子 TEL：080-3316-2070 info@b4s.jp